



「世界の北海道」を目指して
—北海道総合開発計画—



ウポポイ

INTERNATIONAL AESTHETIC MUSEUM and PARK
民族共生象徴空間

北海道白老町に2020 OPEN!

令和元年11月6日

「わが村は美しくー北海道」運動 第9回コンクール表彰式を開催

～釧路開発建設部管内から大賞審査委員特別賞を2団体が受賞～

北海道開発局は「わが村は美しくー北海道」運動（以下「わが村運動」という。）第9回コンクールの表彰式を行います。

釧路開発建設部管内からは大賞審査委員特別賞の2団体「北海道中標津農業高等学校マネージメント研究班」と「歯舞地区マリンビジョン協議会」が受賞しております。

わが村運動では、第9回コンクールの優秀賞13団体の中から、先導性、モデル性の高い活動を行う2団体に大賞（北海道開発局長表彰）及び今後とも継続した活動が期待される2団体に大賞審査委員特別賞（大賞審査委員表彰）を決定し、9月24日に発表しました。

つきましては、札幌市において下記のとおり表彰式を開催しますのでお知らせします。

なお、表彰式では、大賞審査委員会委員長からの講評、大賞表彰団体からの活動報告及び有識者による特別講演があります。

記

日時： 令和元年11月11日（月） 16:00～17:30

場所： 北海道立道民活動センター（かでの2・7）8階820研修室
（札幌市中央区北2条西7丁目）

その他： 傍聴・取材を希望される方は、別紙2の申込書によりFAXにて
11月8日（金）17:00までに北海道開発局農業水産部農業振興課へ
お申し込み願います。

※ 第9回コンクールの表彰団体及び表彰式の詳細は別紙1のとおりです。

「わが村は美しくー北海道」運動の情報は、北海道開発局ホームページに掲載しています。

https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ns/nou_sin/ud49g7000000emhm.html



【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 釧路開発建設部 土地改良情報対策官

土地改良情報対策官 神原 和明 電話:0154-24-7407(ダイヤルイン)

付土地改良情報係長 今井 ゆかり 電話:0154-24-7419(ダイヤルイン)

釧路開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/ks/>

「わが村は美しくー北海道」運動 第9回コンクール表彰団体と表彰式について

北海道開発局
農業水産部 農業振興課

大賞 (北海道開発局長表彰)

特定非営利活動法人

サトニクラス



【月形町】

農業と福祉のまちで「里に暮らす」農福連携に取り組んでいます



障がい者の特性を、個性に合った働き方が出来るよう地域が一体となり工夫しています。

地元野菜を利用して地域の伝統的な発酵食品・保存食文化を継承しています。

北海道真狩高等学校



【真狩村】

「村をもっと元気に！」野菜スイーツで高校生が取り組みます



野菜がほとんど使われることのなかったスイーツ分野で、野菜の栽培、食育、商品開発、販売までを一貫した流れで行い、真狩村の道の駅ではカフェを運営しています。

特別賞 (大賞審査委員長表彰)

北海道中標津農業高等学校
マネージメント研究班
【中標津町】

地域の幼稚園、義務教育学校と連携を図り、計根別地域の全ての子どもたちを対象とした食農教育を展開しています。



函舞地区マリンビジョン協議会
【根室市】

水産ブランド化を中心に位置づけ、漁業振興や誘致活動から漁民泊や漁業体験、クルージング等を通じた交流人口の増加による地域の活性化に向けて活動しています。



「わが村は美しくー北海道」運動 第9回コンクール 大賞表彰式次第

日時：令和元年11月11日（月）

16:00～17:30

場所：北海道立道民活動センター（かでの2・7）

8階 820研修室

（札幌市中央区北2条西7丁目）

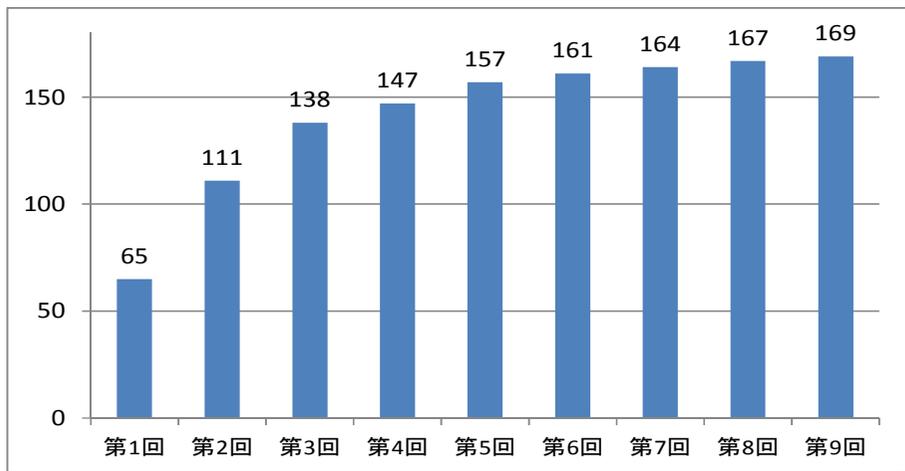
主催：北海道開発局

共催：北海道、NPO法人わが村は美しくー北海道ネットワーク

- | | | | |
|----|----------|------|---|
| 1 | 開 | 会 | |
| 2 | 開 | 会 | 挨拶 北海道開発局 農業水産部長 石川 善成 |
| 3 | 第9回コンクール | 経過報告 | |
| 4 | 表彰状 | 授与 | 大賞（北海道開発局長表彰）・・・ 2団体
大賞審査委員特別賞（大賞審査委員長表彰）・・・ 2団体 |
| 5 | 挨 | 拶 | 北海道開発局長 後藤 貞二 |
| 6 | 祝 | 辞 | 国土交通省 北海道局長 水島 徹治 様
（代理：大臣官房審議官 倉内 公嘉 様）
北海道知事 鈴木 直道 様
（代理：農政部活性化支援担当局長 坂部 浩明 様） |
| 7 | 講 | 評 | 大賞審査委員会委員長 中井 和子 様 |
| 8 | 活 | 動 | 報告 |
| 9 | 特 | 別 | 講演 大賞表彰団体代表 2団体
林 美香子 様 （慶應義塾大学大学院SDM研究科特任教授
北海道田園委員会委員長） |
| 10 | 閉 | 会 | |
| 11 | 記 | 念 | 撮影 |

<参考> 「わが村は美しく—北海道」運動 参加団体の状況

- 参加市町村は、全道の94%にあたる169市町村。(グラフ1、図1)
- これまでのコンクール参加団体数は、複数応募を除き820団体、延べ応募数では、1,172団体。
また、受賞団体数は、延べ254団体。
(3部門制開催の第5回までは金銀銅75、部門統合した第6回以降179) (表1)



グラフ1 参加市町村数 (累積)

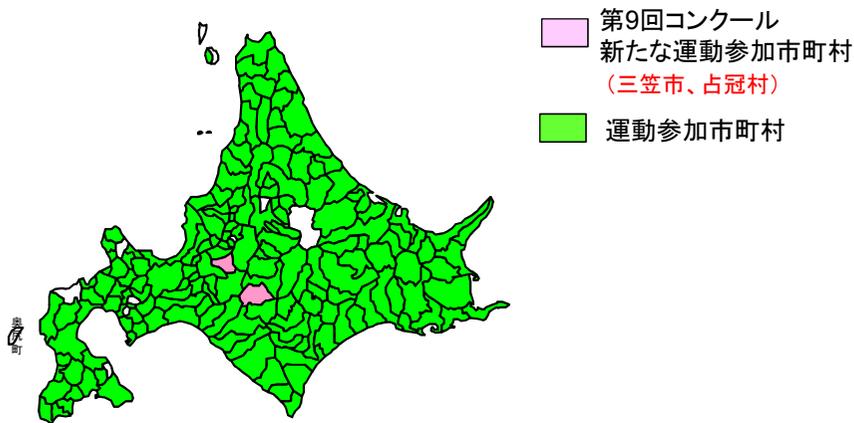


図1 運動参加市町村図

○コンクール応募対象

北海道の農山漁村において、農林水産業の生産活動との関わりがあり、地域住民が主体となって、地域づくりに取り組む次のような活動を対象とする。

目的や内容に「生産と生活に根ざした景観の形成」「地域で生産される農林水産物を活かした特産物づくり」「地域内交流の活発化や都市住民等地域外との交流」の要素のいずれかを含み、これらを活かして地域の活性化に貢献している活動。

○応募資格

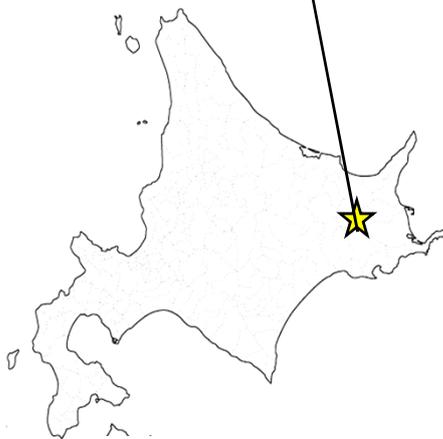
住民が主体となって参加している団体の活動であること(任意団体、NPO法人、協同組合、商工会議所、商工会、学校等を含み、企業単独、個人単独の活動を除く。但し、企業、個人単独であってもその活動が地域の他の団体と連携した活動であって、地域との繋がりが明確に認められる場合は対象とする)

表1 これまでの参加団体数及び受賞団体数

		第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	計
		H13-14	H15-16	H17-18	H19-20	H21-22	H24-25	H26-27	H28-29	H30-R1	
参加団体数 (重複応募を除いた団体数)		114 (114)	160 (119)	170 (122)	169 (100)	200 (130)	113 (73)	99 (64)	86 (57)	61 (41)	1,172 (820)
景観	金	-	-	-	-	-	大賞 3	大賞 3	大賞 2	大賞 2	
	銀	4	-	1	-	1					
	銅	-	2	1	1	1					
特産物	金	2	2	2	2	2	優秀賞 14	特別賞 2	特別賞 3	特別賞 2	
	銀	2	2	2	1	2					
	銅	2	3	2	3	3					
交流	金	2	1	1	1	2	奨励賞 34	優秀賞 14	優秀賞 14	優秀賞 13	
	銀	2	3	3	2	2					
	銅	3	3	2	3	2					
								奨励賞 30	奨励賞 26	奨励賞 21	



中標津町



かぼちゃランタンプロジェクト始動

「計根別景観UP大作戦」計根別地域全体でハロウィンカボチャ取り組み!!

「わが村は美しくー北海道」運動第9回コンクール応募団体

北海道中標津農業高等学校 マネージメント研究班

【中標津町】

地域で食農教育を推進し、食へのありがたみと感謝の心を!!

はじまりは？

農業高校生として「地域にできることをしたい」という生徒の意見から始まった「食育活動」は、酪農を産業とする中標津に生まれ、農業に興味を持つ子供達が少しでも増えるように願って、平成18年にスタートしました。地域産業でもある酪農・農業に興味を持ってもらうため、食へのありがたみと感謝の心を持った子供達を育てるために活動しています。

おもな活動

地域の幼稚園、義務教育学校と連携を図り、計根別地域の全ての子供達を対象とした食農教育を展開しています。幼稚園、小学校、中学校と学ぶ学年に合わせ、畑作や酪農、食品加工など幅広い分野から「農業」に向き合える活動となっており、この活動をきっかけに農業に興味を持ち、本校に入学してくる生徒も増えてきました。

平成30年度から地域住民の「小さな地区に大きなイベントを」という声に応え、地域全体をハロウィンカボチャで飾りつける「計根別景観UP大作戦」を実施しました。このカボチャ栽培には、地域内で耕作放棄畑を使用しているため、農地の有効利用と地域の景観整備にもつながる活動となっています。



かぼちゃに灯りが点る!!



園児とキュウリの播種

ここが自慢

【13年にわたる食育学校・食への感謝を実感 ・計根別のハロウィンは大盛り上がり】

「農業」に触れ、自ら作物を生産することにより、「食」の重要性及び感謝の心を持った生徒が多く、長期にわたる活動であるため、地域住民の理解も非常に高く、食農教育を実践している幼稚園、小・中学校に通う児童は毎年楽しみにしています。また、住民主体に立ち上げた実行委員会と連携しハロウィンカボチャの栽培を行い、幼稚園や小・中学校、地域住民の協力を得て実施しています。さらに、耕作放棄地の活用及び整備、地域全体の景観形成が図られ地域活性化の一助となっています。



幼稚園の収穫祭に参加

連絡先

代表者名：研究班長 高橋 佳太さん／設立：2000年／会員：8名

住所：標津郡中標津町計根別南2条西1丁目1-1
北海道中標津農業高等学校

電話番号：0153-78-2053

F A X：0153-78-2465

E-mail：

U R L：-



根室市



漁民泊体験でおいしい料理を前に!!

「わが村は美しくー北海道」運動第9回コンクール応募団体

歯舞地区マリンビジョン協議会

【根室市】

漁業振興と都市漁村交流を展開・地域社会の活性化を目指す!!

はじまりは？

歯舞地域における将来の漁業振興と観光振興構想である「歯舞地区マリンビジョン計画」に基づいた多様な取り組みを展開しています。歯舞地域が疲弊している姿を見て意識の低下している地域住民、関係企業を含めて、その意識改革をすることに最も力を傾注し「地域にあるものを掘り起こし特性を生かすことが肝要」と考え、水産業はもとより地域経済や社会の活性化を目指し設立されました。

おもな活動

歯舞水産物のブランド化を中心に位置付け、その取り組みを通じた漁業振興、また、歯舞地区の紹介パンフレットを作成して、誘致活動から漁民泊や漁業体験、クルージング等を通じた交流人口の増加による地域の活性化に向けて関係者が一丸となって継続的に取り組み、活気のある漁村づくりを推進しています。



地引網体験の様子



市場の競り見学の様子

ここが自慢

【歯舞水産ブランド・漁民泊・クルージング】

「はぼまい昆布しょうゆ」など20件の商標登録がされています。また、「歯舞おさかな祭り」地方催事などでPR・販売をしており、漁業者自ら宣伝隊となり人気を博しています。

歯舞地区の紹介パンフレットを作成し誘致活動により、市場見学や魚食体験を行った他、学生が漁民泊も体験しています。

納沙布岬は世界でも有数の渡り鳥飛来地という事もあり、近年、外国人バードウォッチャーが増加しており、冬季のクルージングを実施しています。



歯舞水産
ブランド



クルーズ船よりバードウォッチング

連絡先

代表者名：小倉 啓一さん／設立：2006年／会員：43名

住所：根室市歯舞4丁目120番地

電話番号：0153-28-2121

F A X：0153-28-2320

E-mail：info@jf-habomai.jp

U R L：https://www.facebook.com/mv.habomai/

国土交通省 北海道開発局 農業水産部 農業振興課 宛 (FAX 011-709-2145)

申 込 書

「わが村は美しく-北海道」運動 表彰式の傍聴・取材を希望する場合は、本様式により、上記宛先までFAXでお申込みください。

申込締切は、11月8日(金)17:00です。

■会社名及び部署名
■傍聴・取材者 役職・氏名（全員の役職・氏名を記載願います） ①（代表者） <hr/> ② <hr/> ③ <hr/> ④ <hr/>
■テレビカメラ持込みの有無（該当するものに○をつけてください） 有 ・ 無
■連絡先（代表者の連絡先）

※ご記入いただいた個人情報については、会議に関する連絡以外では使用しません。